

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017年	10月	25日	記入者	久門たつお
調査者名	亀田	久門	鈴木	関	

調査対象先	金剛山寺(通称・矢田寺、高野山真言宗)				
所在地	大和郡山市矢田町3506			電話番号	0743-53-1445
代表者 調査対応者	前川真澄山主(矢田寺大門坊住職)				
対象文化財	彫刻	県指定:	1件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1件 1棟	国宝:	件 棟
				重文:	6件
				重文:	件

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定の本堂は平成14年(2002)まで7年をかけ県の補助を得て解体修理を行った。傷んだ部材の交換など補強をする一方、瓦も重量のある本瓦葺きを軽量化した。
	今後の予定	県指定の梵鐘を納める鐘楼(無指定)を平成30年(2018)春までの予定で修理中。瓦も軽量化し耐震度を高める。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本堂には重文、県指定の仏像計5件6体を安置しており、防火対策を最重視している。消火器配備、火災報知機と避雷針の設置のほか、周辺に自衛消防隊が使用する放水銃なども設けている。
	今後の予定	特にない。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	金剛山寺(通称・矢田寺、高野山真言宗)
-------	---------------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	寺は矢田丘陵の中腹にあり、周辺ではアライグマ、イノシシなどが出没している。夜間も門を閉め切ることにはしていないので、被害が出ないか不安はある。シロアリ被害は特にはない。

室町期の県指定の本堂。解体修理を終えている	県指定の梵鐘を納める江戸期の鐘楼は耐震工事中
-----------------------	------------------------



本尊の地藏菩薩立像(重文)などを安置する本堂

本堂の屋根最上部に避雷針を設置



本堂南側に設置された火災報知機

【調査票記入者(久門たつお)の感想】



あじさい寺として知られる矢田寺。県補助に加え、観光収入もあって巨費を投じての本堂解体修理が実施できたと思われる。貴重な文化財が多く、今後も地震・防火対策に万全を期していただきたい。